

「令和2年度 若者政策アイデアワークショップ運営業務委託」

企画コンペティションに係る質問票

質問内容	<ol style="list-style-type: none">1) 参加者(24名想定)は5回(程度)通して同じ参加者と考えてよろしいでしょうか?また、途中離脱者が出た場合は追加募集などを行うことも必要でしょうか?2) 6名×4グループ選定とのことですが、1回のワークショップで4つの課題を同時に進めるとの解釈で問題ないでしょうか?3) 発表会の会場選定にあたり、ワークショップ参加の24名+各職場より4名程度(課題提示者)以外での参加者はどの程度の人数になるか概算でいただければ助かります4) ワークショップの開催時期及び1回あたりの時間について制限はございますでしょうか?5) 発表会会場は市の施設であれば、費用減免申請可能でしょうか?6) 発表会の通常開催と、対面形式が不可の場合とで、見積りが変わる場合はそれぞれ見積書を作成するのでしょうか?
回答	<ol style="list-style-type: none">1) お見込みのとおりです。 また、途中離脱者が出た場合でも、ワークショップの継続に支障をきたさない程度であれば、追加募集の必要はありません。2) お見込みのとおりです。 ただ、別の方法の提案を否定するものではありません。3) ワークショップ参加者以外にも、参加者の関係者や市幹部職員、関係部署職員等が出席することを想定しておりますので、ワークショップ参加者以外の参加者は約20～40名程度になる可能性があります。4) 平日に開催する場合は、18時半以降の時間帯に開催する必要がありますが、それ以外に開催時期や1回あたりの時間について制限は特にございません。5) 可能です。費用減免申請可能な施設であれば、減免後の金額で見積書に記載してください。6) 原則、発表会は通常開催を想定しておりますので、見積書の作成は通常開催の場合のみで構いません。